

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	王 佳琪 (おう かき)
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	人間科学研究科 博士一年
発表年月 または事業開催年月	2022 年 9 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	The 7th IEEE Cyber Science and Technology Congress/The International Workshop on Adaptive Cyber Learning 2022 (ACL 2022)
発表者 (※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	王 佳琪
発表題目 (※学会発表の場合のみ記載)	i-Comments: On-screen Individualized Comments for Online Learning Support
<p>発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)</p> <p>近年、教育分野におけるデジタル化が推進されており、教育公平や生涯教育を促進するために、オンラインラーニングは一つ重要な手段です。特に新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン授業が急増し、オンライン学習に関心が集まっています。オンラインラーニングの形式はいくつかあるが、いずれの形式でも対面でのコミュニケーションが失われて、インタラクション不足の問題があります。特にオンデマンド授業の場合はリアルタイムのやり取りができなくて、学習者は集中できない、疲れやすい、孤独を感じる、満足を感じられないなどの欠点が明らかになっています。</p> <p>本研究では、個に適する個人化のコメント(i-Comment)モデルを提案し、それをを用いてオンライン学習のインタラクションを改善することにより、個人の学習効果を向上することを検証します。そして、i-Comment 提示のタイミング、内容、量はそれぞれ定義されて、学習者の学習状態に影響を与える指標 (集中力、疲労度、ストレス感、認知負荷) は最適な範囲に維持します。また、モデルを評価し、検証するために検証実験が設計されました。最後、i-Comments を適用できるシナリオも紹介されます。</p> <p>URL: https://ieeexplore.ieee.org/document/9927911</p>	

※無断転載禁止